

第3章 地域の発展に尽くした人々 —琵琶湖大水害—

小学校第4学年社会科
大津市立堅田小学校 渡晋一

1 単元を貫く問い

- ・昔の人は、水害をどのように防いだのだろうか。

2 育成したい資質・能力

- ・当時の世の中の課題や人々の願いなどについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を理解している。（知識・技能）
- ・調べたことを年表や文などにまとめ、地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。（知識・技能）
- ・当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、問いを見だし、地域の発展に尽くした先人の具体例について考え表現している。（思考・判断・表現）
- ・先人の働きと地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて、先人が当時の地域や人々の生活の向上に貢献したことを考えて適切に表現している。（思考・判断・表現）
- ・地域の発展に尽くした先人について、学習計画を立て、予想したり、学習を振り返って見直したりして、学習問題を追及し、解決しようとしている。（主体的に学習に取り組む態度）

3 単元の流れ（全10時間）

- 水があふれた琵琶湖（1時間）
 - ・瀬田の唐橋と瀬田川洗堰の写真を見て、気づいたことを出し合う。
 - ・瀬田川に堰ができた理由について予想する。
 - ・琵琶湖の水位の変化（グラフ）や壊れた橋（写真）の資料から、気づいたことを出し合う。
- 明治の大水害（1時間）
 - ・1896年に起きた「明治の大水害」について被害の様子を調べる。
- 水害を防ぐために（1時間）
 - ・水害を防ぐ取り組みについて調べる。
- 瀬田川の川ざらえをした藤本太郎兵衛（2時間）
 - ・藤本太郎兵衛が、水害を防ぐためにどのような取り組みを行ったか調べ、その願いや努力について考える。

○田上山の砂防（1時間）

- ・昔の田上山と現在の田上山の様子を比較する。
- ・井上清太郎の取り組みについて調べ、願いや努力について考える。

○2つのあらいぜき（2時間）

- ・瀬田川洗堰を新しくつくった理由について考える。
- ・洗堰ができて、人々の思いやくらしは、どのように変わったのか考える。

○先人の願いを受けついで（2時間）

- ・先人たちの願いが分かる治水の歴史を年表にまとめる。
- ・今に生きる人々が先人の働きについてどのように思っているのか考える。

4 本時（2/10時間目）

《学習課題》

- ・大水害が起きた時、人々はどのような思いで生活していたのだろう。

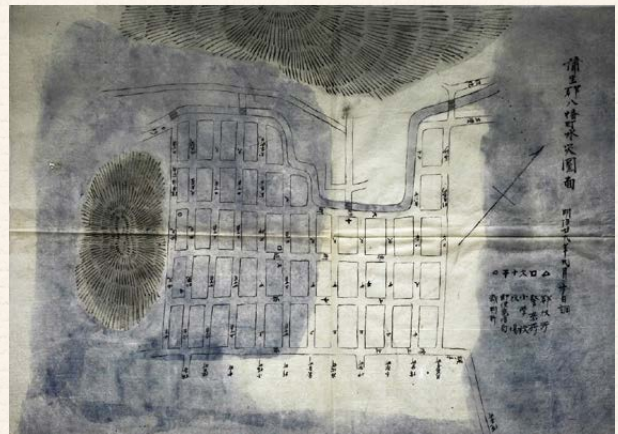
《本時の目標》

- ・被害を受けた人々の思いや苦勞について考え、表現している。

《本時の学習過程》

【導入】

- 図3-1「蒲生郡八幡町水災図面」からわかることを考える。



3-1 蒲生郡八幡町水災図面
明治29年9月10日【明は10(29)】

- ・図面の記号をもとに、郡役所や警察署、裁判所、小学校など町内の主要建物が水没していることに気づかせる。

